

「奄美大島コロナ警戒レベル」“5”から“4”への引下げに際して
(奄美大島5市町村共同メッセージ)

奄美大島では令和4年の年明け以降、爆発的に市中感染が拡大し、島内の医療提供体制のひっ迫は最高度に達し、一時は医療崩壊も懸念される状況にございました。そのため、令和4年1月6日に「奄美大島コロナ警戒レベル」を最大の5に引き上げ、最大級の危機感をもって様々な対策やご協力をお願いしてまいりました。

奄美大島における感染状況について、独自の警戒レベルの状態に照らしあわせ、感染拡大の可能性について予断を許す状態にはないものの、医療提供体制の維持について“危機的”な状態は脱していると判断し、奄美大島新型コロナウイルス対策本部会議では、2月25日からレベルを「4」に引き下げることといたしました。

これまで、新型コロナウイルス感染症に罹患された全ての皆様にお見舞いを申し上げますとともに、現在療養中の皆様の一日も早いご快復を心からお祈り申し上げます。

また、年明け以降、基本的な感染防止対策を強く心がけ、感染拡大防止にご努力いただいた住民の皆様、危機的にひっ迫する状況にあっても住民の生命と健康を守るためご尽力いただきました医療関係者の皆様、現在もまん延防止等重点措置により講じられている長期に亘る営業時間短縮要請に応じていただいた飲食店をはじめとする事業者の皆様に、衷心より深く感謝申し上げます。

現在、感染の中心とされているオミクロン株については、大変感染力が高いことが知られています。奄美大島における感染状況及び医療提供体制については、一時期の危機的な状況ではなくなりましたが、少しの気の緩みが再度の感染拡大に繋がりにかねない状況であることに変わりはありません。

県内のクラスター発生の要因として、「スポーツ活動の際の休憩時」や「食事の際のマスクをはずした状態でのおしゃべり」など、気の緩みが発生しやすい場所で感染が拡大する傾向が見られます。

今一度、「換気の徹底」「マスク着用」「手洗い・うがいの励行」をはじめとした基本的な感染防止対策をこころがけましょう。

令和4年2月25日

奄美市長	安田	壮平
大和村長	伊集院	幼
宇検村長	元山	公知
瀬戸内町長	鎌田	愛人
龍郷町長	竹田	泰典